

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-84366

(43)公開日 平成11年(1999) 3月26日

(51)Int.Cl.<sup>9</sup>  
G 0 2 F 1/1335 5 0 5

F I  
G 0 2 F 1/1335 5 0 5

G 0 2 B 5/00  
5/20 1 0 1

G 0 2 B 5/00 B  
5/20 1 0 1

G 0 2 F 1/133 5 0 0

G 0 2 F 1/133 5 0 0

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 9 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平9-241281

(22)出願日 平成9年(1997) 9月5日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72)発明者 吉田 往史

千葉県茂原市早野3300番地 株式会社日立

製作所電子デバイス事業部内

(74)代理人 弁理士 武 順次郎

(54)【発明の名称】 液晶表示素子

(57)【要約】

【課題】デュアルスキャン方式の液晶表示素子におけるセグメント電極の分離部分でのセルギャップ差を無くし、高品質の画像表示を得る。

【解決手段】ブラックマトリクス2で区画された複数のカラーフィルタ3と、少なくとも表示領域では平行な複数の共通電極5Aとを有する第1の基板1Aと、少なくとも表示領域では平行で、前記共通電極と直交し、かつ前記ブラックマトリクス2と対向する部分で分離して2つの走査電極群を構成する複数のセグメント電極5Bとを有する第2の基板1Bとを所定の間隙で対向させ、表示領域外周をシール材で接着すると共に、前記間隙に180度以上のねじれ角を持つ液晶層を封入してなる液晶表示素子において、前記分離部分11に対向する前記ブラックマトリクス2上に重畳させたカラーフィルタ3の端部の厚みを前記セグメント電極5Bの厚さ相当とした。

